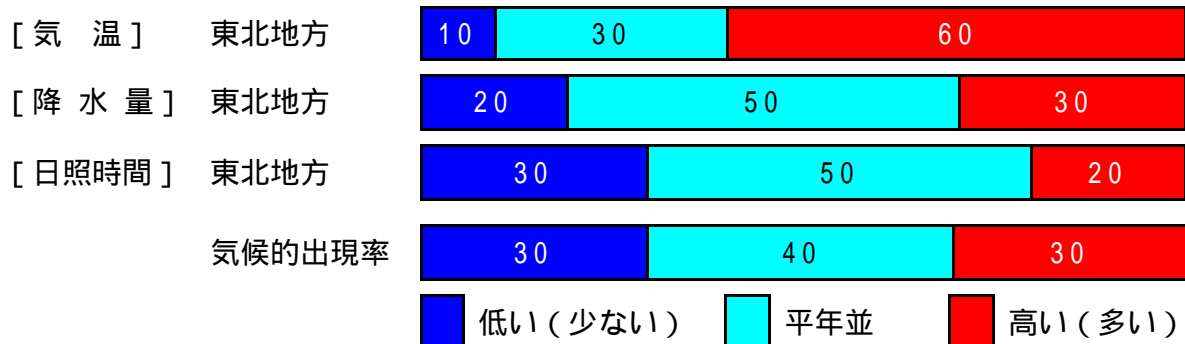


## 東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：9 月 25 日～10 月 24 日）

平成 11 年 9 月 24 日 仙台管区气象台

### 1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[ 気 温 ]: 東北地方は「高い」の可能性が大きく、その確率は 60％です。次に大きい確率は「平年並」で 30％です。「低い」の確率は 10％と小さい。

[ 降 水 量 ]: 東北地方は「平年並」の可能性が大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「多い」で 30％です。「少ない」の確率は 20％と小さい。

[ 日照時間 ]: 東北地方は「平年並」の可能性が大きく、その確率は 50％です。次に大きい確率は「少ない」で 30％です。「多い」の確率は 20％と小さい。

### 2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

東北地方は、低気圧や高気圧が交互に通り、天気は周期的に変化するでしょう。平年同様晴れの日が多いでしょう。

この期間の平均気温は高い見込みです。

平年の晴れ日数は約 16 日です。

各予報期間の天候の特徴

1 週目……………

(9 月 25 日～10 月 1 日)

向こう 1 週間は、高気圧に覆われ晴れの日が多いでしょう。

平均気温は高い見込みです。

平年の晴れ日数は約 4 日です。

なお、詳細は週間天気予報を参照して下さい。

2 週目……………

(10 月 2 日～10 月 8 日)

天気は周期的に変化するでしょう。

平均気温は高い見込みです。

平年の晴れ日数は約 4 日です。

3～4 週目……………

(10 月 9 日～10 月 22 日)

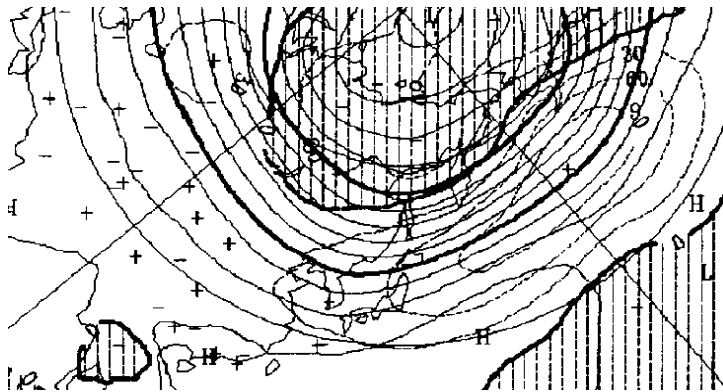
天気は周期的に変化するでしょう。

平均気温は高い見込みです。

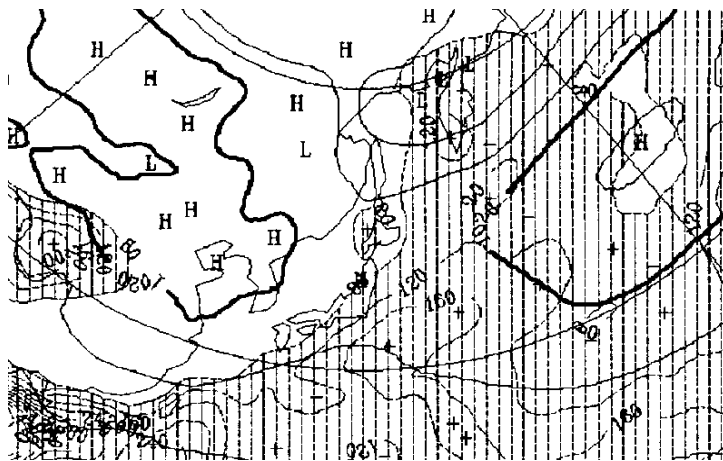
平年の晴れ日数は約 8 日です。

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

・500hPa 高度・偏差



月平均の 500hPa 高度・偏差  
（等高度：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差）



月平均の地上気圧と降水量  
（等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上）

月平均でみると、日本付近は日本の東海上を中心とした正偏差に広く覆われる。また、日本の南東海上にある高気圧の勢力は平年より強い。流れはゾーナル<sup>注1</sup>だが、西谷<sup>注2</sup>傾向を示す。

このため、天気は周期的に変化するが、寒気の南下は弱く、気温は高めに経過しやすい。

注1) ゾーナル：偏西風の南北の蛇行が小さい状態。低気圧や高気圧が順調に東進し、天気は周期的に変化しやすい。

注2) 西谷：上空で日本の西側が気圧の谷となり、南から暖かく湿った空気が入りやすい。

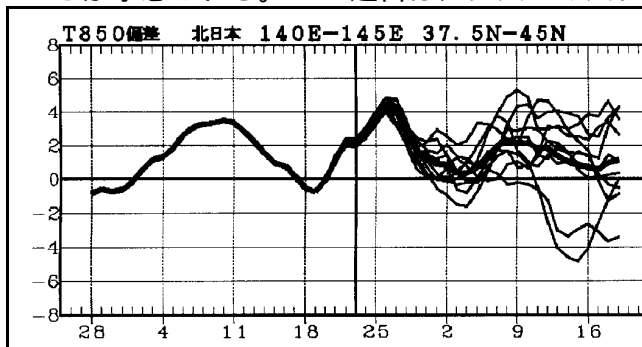
・地上気圧と降水量

月平均でみると、本州南岸には秋雨前線によるものと思われるまとまった降水域が予想される。週別では、1 週目（図略）は日本付近広く弱い降水域がかかる。2 週目以降（図略）は、ほぼ月平均と同様の分布を示す。

### 3．北日本 850hPa の気温偏差の

#### 実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温は、アンサンブルメンバーの平均でみると、平年より高めに推移することが予想される。3～4 週目はメンバーのバラツキが大きく、平年を下回るメンバーもある。



北日本 850hPa 高度（上空約 1500m）での気温偏差の実況と予想

縦軸：気温偏差（℃） 横軸：日付

発表日以降の細線は各アンサンブルメンバーの予想値、太線は平均値。

注）・資料の内容を他の要素により修正して予報を組み立てることがあります。

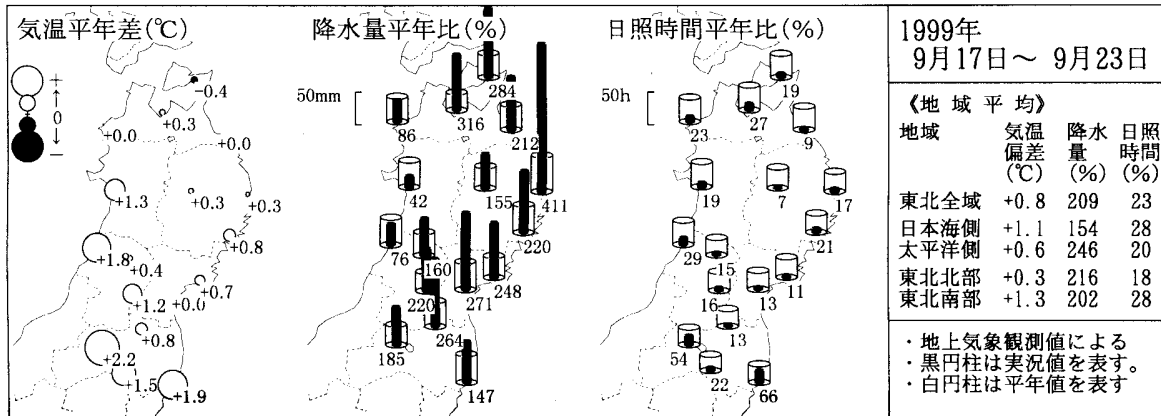
・850 hPa の気温は、地上の気温と必ずしも対応しないことがあります。

注：1 か月予報では、よく似た初期値から出発した 10 個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10 個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

#### 4．最近 1 週間（9 月 17 日～9 月 23 日）の天候の経過

この期間、前線が東北地方に停滞し、曇りや雨の日が続いた。特に前線の活動が活発化した 20 日は東北北部で、21～22 日は東北太平洋側で大雨となった。また、曇りや雨の日が続いたため、最高気温は平年を下回る日が多かったが、最低気温は平年を上回り、平均気温は平年を上回る所が多かった。

平均気温は東北地方で偏差が+0.8 と平年より高かった。降水量は日本海側で平年比 154%、太平洋側で 246%と平年を上回った。日照時間は東北地方で平年比 23%と平年を大きく下回った。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）